

広島市植物公園 見どころ案内

2023年10月21日
通巻第599号

今週の
見どころ案内
掲載植物
現場にはこの表示
がしてあります。

秋のグリーンフェア期間中
(10/28~11/5)は入園料無料*
駐車料金は有料、詳しくは広島市公式ホームページで

展示会のご案内

- ◇展示資料館
野生きのこ展 (10/21~10/25)
趣味のポタニカルアート展
(10/28~11/23)
- ◇展示温室
サボテン・多肉植物展 (10/7~10/22)
秋の洋ラン展 (10/28~11/5)
- ◇屋外展示場 キク展 (10/28~11/19)
- ◇大温室前 (10/28~11/5)
ハンギングバスケット作品展

秋バラ (バラ科)

四季咲きバラが秋の見頃を迎えています。気温の低下に伴い花色が深まってきました。秋空の下でバラ園散策をお楽しみください。

マユハケオモト (ヒガンバナ科)

南アフリカ原産の球根植物。雄しべが密生する姿をまゆはけ(アイブロウブラシ)に見立てています。

トウゴマ (トウダイグサ科)

インド~北アフリカ原産。古代エジプト(約6000年前)では既に栽培されていました。種子からひまし油(植物油)が作られます。

チャノキ (ツバキ科)

中国原産。白い花びらに多数の黄色い雄しべが目立ちます。果実が熟するのに約1年かかるので、花と実を同時に観察できます。

ハナセンナ、コバノフシバカマ ストルマリア ディスク フェラ (ヒガンバナ科)

南アフリカ原産の球根植物(冬型のケープバルブ)。雪の結晶のような星型の可愛らしい花が咲いています。

コスモス (キク科)

秋の風物詩、コスモスが見頃です。森のレストランの花壇に約3,800株を植栽しています。11/5までコスモスウィークも開催中。

ジュウガツザクラ (バラ科)

コヒガンザクラの園芸品種。淡紅色で八重咲の花を咲かせます。和名の十月桜は春だけでなく秋にも花が咲くことに因みます。

★大温室で見頃の花
サガリバナ(実)、ピヨウタコノキ(実)、ナンヨウザクラ、洋ラン各種 [パフィオペティルム、コチヨウラン、カトレヤ、グアリアンテ、レリア、エピテンドラム、ミルトニア、オンシジウムなど]、クルクマ、サンゴアナナス、アンズリウム、ディコリスンドラ、[カカオ、コショウ、ソーセージノキ、ゴレンシ、ペニノキ、ホホワイトサボテ、バナナ各種、パパイヤ、黄金ココヤシ、コーヒーンキ(以上は実)]、ムッサエンダ、ストロビランテス、桃色イペー、パキスタキス、ルエリア、ジャスミンム ノビレ、ブーゲンビリア、フウリンフッソウゲ、ハイビスカス、ゴールデンチェーンツリー、アリアケカズラ

❁ 毎週土・日曜日・祝日 午後1時半~3時20分は、ガイドボランティアが園内を案内します ❁
❁ 10/24、11/11 午前11時~は、職員による植物うんちく語りを実施します ❁

